

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 1】

事業名	利用者支援事業	担当課	子育て支援課、保健センター
事業内容	子ども、またはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。 現在、子育て支援サービスの利用についての相談は、子育て支援課や保健センター窓口で受けています。		

令和4年度の取り組み内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業に定員数を設けて実施しました。ご案内できなかった対象者もいましたが、親子ふれあい遊びや沐浴のやり方、口腔ケア等についての動画配信や、Wi-Fi環境を整え、オンライン会議アプリを利用した各種セミナーの開催、相談を実施し、妊娠・出産・子育てに関する不安の解消に努めました。

- ・事業費：8, 147, 834円
- ・妊婦相談：実人数 410人
- ・育児相談（計測含む）：延人数 1, 133人（保健センター利用者統計から）
- ・妊娠後期電話かけ：実人数 117人

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	コロナ禍でも安心して相談できるように体制を整えることができました。
A：十分な成果を上げた （達成度8割以上）	

令和5年度以降の取り組みについて

事業開催にあたり見直しをしながら、上記取り組みを継続しつつ、妊娠・出産・子育てに関する不安の解消に努めます。

	令和2年度 （実績）	令和3年度 （実績）	令和4年度 （実績）	令和5年度 （推計）	令和6年度 （推計）
基本型・特定型 （か所）	1	1	1	1	1
母子保健型 （か所）	1	1	1	1	1

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号2】

事業名	地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター)	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行なう事業です。 現在、市内5か所の保育施設で実施しています。		

令和4年度の取り組み内容

私立の保育施設等で実施し、市はその経費を補助しました。
新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設で事業を縮小していた期間もありましたが、可能な限り育児相談や保護者同士の交流の場を設け、地域の子育て支援機能の充実を図りました。

- ・実施施設：私立保育園1園（東茂原保育園）
私立認定こども園4園（高師保育園、アップル幼稚園、
ほのおかこども園、もばら空と杜のこども園）
- ・補助額：32,709,972円

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	育児相談や教室等を実施し、保護者への情報提供や子育てに対する不安の解消につながりました。
B：ある程度の成果を上げた (達成度4割～7割)	

令和5年度以降の取り組みについて

今後も子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場が提供できるよう事業の充実に努めます。

	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量 (人日)	2,252	2,267	3,607	7,392	7,833
確保方策 (か所)	3	4	5	5	5

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号3】

事業名	妊婦健康診査	担当課	保健センター
事業内容	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。 妊婦が安心して安全な出産を迎えることができるよう、関係機関（産婦人科医院等）との連携を図りながら実施します。		

令和4年度の取り組み内容

妊婦一人につき、妊婦健康診査14回分の費用を受診票により一部助成し、県外等の委託契約をしていない医療機関での妊婦健康診査については、償還払いにより対応しました。
また、平成30年度から医療機関委託妊婦健康診査受診票を使用した上で生じた自己負担金の助成（上乗せ助成）を開始し、令和4年度も継続して妊婦の経済的負担の軽減を図りました。コロナ禍でも安心して妊婦健康診査を受診できるよう、厚労省のリーフレットを用いて感染予防・ワクチン接種について情報提供しました。

- ・事業費：47,612,865円（令和4年度決算）
- ・延べ受診者数：4,864人
- ・償還払い：26人
- ・上乗せ助成件数：実383件
- ・医療機関委託妊婦健康診査助成金額：40,425,475円（14回分）
- ・受診率：83.7%（母子健康手帳発行数からの試算）
- ・上乗せ助成：自己負担を受診券使用1回につき2,000円を上限に助成

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	適宜、健康診査の受診状況を確認し、定期的な妊婦健康診査が滞っている場合には、産科医療機関と連携し、電話や訪問等により受診勧奨を行い、安心して安全な出産ができるよう支援しました。
A：十分な成果を上げた（達成度8割以上）	

令和5年度以降の取り組みについて

妊婦健康診査受診の必要性については、引き続き母子健康手帳交付時、ママ・パパ教室時、及び妊婦訪問時に妊婦や家族に周知を図っていきます。
また、産科医療機関と連携し、定期的な妊婦健康診査を受診し、安心して安全な出産ができるように支援していきます。

	令和2年度 （実績）	令和3年度 （実績）	令和4年度 （実績）	令和5年度 （推計）	令和6年度 （推計）
見込量 （人）	5,289	4,947	4,864	5,936	5,810
確保方策 （人）	5,289	4,947	4,864	5,936	5,810

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 4】

事業名	乳児家庭全戸訪問事業 (赤ちゃん訪問事業)	担当課	保健センター
事業内容	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。 保健師・助産師・看護師・保育士が訪問しており、保護者の産後の不安を和らげる子育て相談ができるよう、訪問連絡を積極的に実施しながら、乳児のいる全家庭を訪問できるよう実施します。		

令和4年度の取り組み内容

生後4か月までの乳児のいる家庭を対象とし、原則として第1子は助産師が生後1か月以内に、第2子以降は生後2か月以降に看護師、保育士が訪問しました。エジンバラ産後うつ質問票(EPDS)を用い、産後うつも含めて母子の状況を把握し、子育ての不安や悩みを傾聴しながら、必要な子育て情報を提供しています。
感染症対策として、手指消毒薬や機材の消毒薬、グローブ、ゴーグルを準備しました。
また、訪問に不安を感じる家庭についてはオンラインで面接ができるよう環境を整えていましたが、今年度利用希望者はいませんでした。

- ・事業費：1,569,946円
- ・対象：448件のうち408件（91.1%）

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	訪問により、乳児の成長発達の確認と母親の不安や悩みに寄り添い、必要な子育てに関する情報提供などを行い、育児不安の解消につなげました。 また、EPDSにより産後うつ傾向のある母親を早期に発見し継続支援ができたことから、虐待予防としても効果があったものと考えます。

令和5年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量 (人)	445	403	408	424	415
確保方策 (人)	445	403	408	424	415

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 5】

事業名	養育支援訪問事業	担当課	子育て支援課
事業内容	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。		

令和4年度の取り組み内容

令和4年度より、従来の「専門的相談支援」に加え、「家事・育児支援」を民間ヘルパーに委託し開始しました。支援の対象となる家庭に対して、開始前に関係機関と個別の支援会議を開催し、適切な支援が行えるよう努めました。
また、適切な養育環境を整えるため、訪問支援員への研修を行い、技能の向上を図りました。

実施数：13家庭（専門的相談支援：9家庭／家事・育児支援5家庭）

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	評価理由等
A：十分な成果を上げた （達成度8割以上）	関係機関と情報共有し、養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対して、訪問での指導助言、支援を行いました。これにより、養育の改善が図られ、児童虐待の防止に繋がったものと考えます。

令和5年度以降の取り組みについて

上記の取り組みを継続するとともに、関係機関と連携し、支援が必要な家庭の早期発見に努め、適切な支援を実施します。

	令和2年度 （実績）	令和3年度 （実績）	令和4年度 （実績）	令和5年度 （推計）	令和6年度 （推計）
見込量 （件）	15	10	13	28	30
確保方策 （件）	15	10	13	28	30

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 6】

事業名	子育て短期支援事業	担当課	子育て支援課
事業内容	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業です。 現在、事業は未実施となっていますが、今後の実施の可能性を含め、事業者に対して事業内容の周知・啓発を実施します。		

令和4年度の取り組み内容

実施した事業はありません。

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	市内の児童福祉施設において、今後事業実施の可能性が出てきたため協議を行いました。
C：事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	

令和5年度以降の取り組みについて

市内の児童養護施設が令和6年4月から子育て短期支援事業の実施を予定しており、引き続き事業者と協議してまいります。

	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量 (人日)	0	0	0	579	551
確保方策 (か所)	0	0	0	0	1

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 7】

事業名	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員とし、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。		

令和4年度の取り組み内容

事業受託者と委託契約を締結し、事業を実施しました。
令和4年度末時点で、依頼会員95名、提供会員26名、両方会員2名の123名の登録があり、利用者は8名、延80回の利用がありました。

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	利用者数は令和3年度と同様でしたが、利用回数は増加しました。 また、依頼会員は増加したものの、提供会員が若干減少しました。
B：ある程度の成果を上げた (達成度4割～7割)	

令和5年度以降の取り組みについて

令和4年度までは、社会福祉法人茂原市社会福祉協議会に事業を委託して実施していましたが、令和5年度からは市直営での実施に変更となりました。
あらためて、事業の周知やニーズを把握し会員数の増加に努めます。

	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量 (人日)	111	36	80	94	91
確保方策 (か所)	1	1	1	1	1

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 8】

事業名	一時預かり事業	担当課	子育て支援課
事業内容	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所で一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。		

令和4年度の取り組み内容

一時預かりを保育施設や幼稚園で実施し、私立保育園及び私立認定こども園には、経費の補助を行いました。
また、令和4年度から、鶴枝保育所において一般型の一時預かり保育を開始し、保健センターでの健診時等を活用してチラシを配布し、子育て世帯へ周知しました。
より一層事業の充実に努めました。

- ・実施施設：①幼稚園型 私立幼稚園4園、私立認定こども園3園
②幼稚園型を除く 私立保育園1園、公立保育所2園、
私立認定こども園1園、認可外保育施設3園
- ・補助額：4,475,771円

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	家庭において一時的に保育ができなくなってしまった保護者のニーズに対応しました。
B：ある程度の成果を上げた (達成度4割～7割)	

令和5年度以降の取り組みについて

引き続き、チラシを配布する等、子育て世帯への周知に努めます。
一時預かり保育のニーズは高いため、今後も事業の充実に努めます。

①幼稚園型

	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量(人日)	12,524	9,808	16,092	12,738	11,592
確保策(か所)	5	6	7	7	7

②幼稚園型を除く

	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量(人日)	80	592	1,117	1,281	1,266
確保策(か所)	5	6	7	7	7

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 9】

事業名	延長保育事業	担当課	子育て支援課
事業内容	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等で保育を実施する事業です。		

令和4年度の取り組み内容

延長保育を公立及び私立の保育施設で実施し、私立の保育施設には経費の補助を実施しました。

・補助額：6,968,000円

・公立保育所5園及び私立認定こども園1園（アップル幼稚園）：保育標準時間認定を受けている園児については、18時30分から19時まで、保育短時間認定を受けている園児については、7時30分から8時まで、又は16時から19時まで延長保育を行いました。

・公立保育所1園（豊田保育所）：保育標準時間認定を受けている園児については、7時から7時30分まで、又は18時30分から19時まで、保育短時間認定を受けている園児については、7時から8時まで、又は16時から19時まで延長保育を行いました。

・私立保育園1園（東茂原保育園）及び私立認定こども園3園（高師保育園・ほのおかこども園・もばら空と杜のこども園）：保育標準時間認定を受けている園児については、18時から19時まで、保育短時間認定を受けている園児については、7時から8時、16時から19時まで延長保育を行いました。

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	全ての公立・私立保育所（園）及び私立認定こども園で実施し、多様な保育ニーズに対応しました。
A：十分な成果を上げた （達成度8割以上）	

令和5年度以降の取り組みについて

延長保育に対する保護者のニーズは高いため、今後も事業の充実を図ります。

	令和2年度 （実績）	令和3年度 （実績）	令和4年度 （実績）	令和5年度 （推計）	令和6年度 （推計）
見込量 （人日）	1,335	1,554	1,607	1,605	1,548
確保方策 （か所）	13	12	12	12	12

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 10】

事業名	病児保育事業	担当課	子育て支援課
事業内容	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業です。		

令和4年度の取り組み内容

白子町の酒井医院と委託契約して事業を実施しました。茂原市、白子町、一宮町、長生村の4市町村で締結した協定に基づき、委託料を支払いました。

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	病児・病後児保育を必要とする保護者のニーズに応えました。
B：ある程度の成果を上げた (達成度4割～7割)	

令和5年度以降の取り組みについて

引き続き、酒井医院と契約し、事業を実施していきます。
病児・病後児保育所の実施については、長生郡市内で連携して取り組む必要があることから、関係機関との協議を進めてまいります。

	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量 (人日)	175	188	242	165	158
確保方策 (か所)	1	1	1	1	1

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 1 1】

事業名	放課後児童健全育成事業 (学童クラブ)	担当課	子育て支援課
事業内容	保護者が昼間家庭にいない児童（小学生）に対して、放課後に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。 また、新・放課後子ども総合プランの推進にあたって、学童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な、または連携による実施を図るため、事業の周知や情報提供等を行うほか、地域の実情にに応じて、市の教育部門と福祉部門が連携して取り組みます。 また、障害のある子ども等、特別な配慮を必要とする子どもの受け入れについては、関係機関等と連携を図りながら、子どもや保護者が安心して過ごせるよう配慮します。		

令和4年度の取り組み内容

東部小学校敷地内に新たに学童クラブ専用保育室を整備しました。
 新型コロナウイルス感染症対策として、公設学童クラブには消耗品、備品等を購入し、民設学童クラブには対策に要する経費を補助しました。
 物価高騰対策として、民設学童クラブの運営者に対して、補助金を交付しました。
 公設学童クラブと民設学童クラブの利用料の平準化を目的に、民設学童クラブの運営者に対し、補助金を交付しました。

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	評価理由等
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	保護者の就労環境整備及び児童の保育環境の向上が図られました。 また、新型コロナウイルス感染症対策としての物品購入や補助金の交付、及び物価高騰対策としての補助金の交付により支援を行うことができました。

令和5年度以降の取り組みについて

待機児童が発生している萩原小学校区の学童クラブについて、建物を整備します。
 非課税世帯、きょうだい利用の世帯に加え、ひとり親家庭への助成を行います。
 物価高騰対策として、補助金を交付し支援します。

		令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (推計)	令和6年度 (推計)
見込量 (人)		607	578	558	591	596
確保策 (人)		655	680	663	643	673
確保策 (か所)	放課後 児童クラブ	20	20	19	18	19
参考 (か所)	放課後 子ども教室	0	0	0	8	9

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 12】

事業名	実費徴収に係る 補足給付を行う事業	担当課	学校教育課
事業内容	世帯の所得の状況や多子世帯等、市町村が定める基準に該当する保護者に対し、「日用品、文房具等の購入に要する費用」や「食事の提供に要する費用」を助成をする事業です。		

令和4年度の取り組み内容

新制度未移行幼稚園の利用者で、年収 360 万円未満相当世帯や、園児が小学校3年生以下で数えて第3子以降にあたる場合等、月額4,500円を上限として副食費の助成を実施しました。

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	該当者へ適切に助成しました。
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	

令和5年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号 13】

事業名	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	担当課	子育て支援課
事業内容	多様な事業者の新規参入を支援するほか、特別な支援が必要な子どもを受け入れる認定こども園の設置者に対して、必要な費用の一部を補助する事業です。 また、令和3年度から幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動を実施する施設を利用する幼児の保護者に対して利用料の一部を補助する「地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業」が始まりました。		

令和4年度の取り組み内容

「地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業」について、令和4年度から事業を開始し、市外の事業者1か所（野外保育）を補助対象事業者として決定し、利用児童1人に対して補助を実施しました。

令和4年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	補助の内容について市ウェブサイトにおいて周知しました。 市外の施設1か所を補助対象施設として決定し、1件の補助を実施しました。
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	

令和5年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。